

WEEKLY NEWS 2015 週報 通算 2165回 《23回》

第2640地区

和歌山東南 ロータリークラブ

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>



世界へのプレゼントになろう

会長 平 平治、幹事 松浦 薫
会報委員長 郷間博敏

例会日：水曜日 例会場：ルミエール華月殿

第1・第2:18:30～(夜)

第3・第4・第5:12:30～(昼)

事務局 E-Mail

a-rotary@coral.cypress.ne.jp

本日の例会

1月13日(水)
18:30～華月殿

- ・開会点鐘 平会長 ・ローターソング：四つのテスト、和歌山県民歌 ・出席報告(例会委員会)
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告
- ・行事「申年うまれの会員卓話」楠見会員 鯨坂会員 塩崎会員 小林(一)会員
- ・閉会点鐘 平会長

先週例会報告 会場監督 楠見珠緒

ゲスト・ビジターはございません。

会長挨拶

平 平治会長

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。
今年のお正月はとても暖かくで、過ごしやすかったですね。私は元旦は氏神様の岡の宮に初詣をしました。例年に比べ暖かかったのか参詣者が多かった様に思いました。2日、3日はテレビで箱根駅伝を観戦しました。皆様はどの様に正月を過ごされましたか？
さて、今年の4月2日 45周年記念式典を控えています。昨年より皆様ご協力準備を重ねてきましたが、引き続き本番に向けて総力で盛り上げていただきたいと思います。
よろしくお願い致します。



幹事報告

松浦 薫 幹事

- 3件各テーブルに一部置いてあります。お目通しください。
 - ・14-15年度 ロータリーの友事務所事業報告書が届いています。
 - ・とらふす学園より「クリスマスツリー点灯式」出席のお礼状と領収書が届いております。
 - ・ハイライトよねやま 189
- クラブ社会奉仕委員長会議が1月23日(土)13:00～16:00 華月殿にて行われます。
市川社会奉仕委員長、ご出席よろしくお願いいたします。
- 地区大会事務所開所のお知らせ。開所日は12月21日(月)、住所は辻ガバナー事務所内です。
- 地区大会プログラムを本日、皆様のラックに入れさせて頂いております。ホストクラブは和歌山市内9RCです。出欠表を回します。2日目の皆様のご参加、よろしくお願い申し上げます。
第1日目 日時：2月27日(土)14:00～、ルミエール華月殿
「松本 RI 会長代理ご夫妻歓迎晩さん会」ホテルアバローム紀の国18:00～20:30
第2日目 日時：2月28日(日)9:30～15:30、県民文化会館大ホール
記念講演「もっと世界をみつめ直ほそう」千 玄室氏
- 国際ロータリー第2710地区より、8月20日広島豪雨土砂災害復興支援報告書が届いておりますので、回覧いたします。
- 1月20日(水)例会終了後のクラブ協議会にご出席いただきます役員・理事・各委員長・入会3年未満会員の皆様には当日、活動計画書をご持参いただきますよう よろしくお祈りいたします。
- ロータリーレート 1月は1\$=120円です。
- 本日例会終了後、定例理事会を開催いたします。役員・理事の皆様、よろしくお願い致します。



出席報告

出席者 出席率

ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー財団	東南育英会	45周年記念 BOX	
累計	1,103,500	138,000	209,000	20,000	470,560

会員総数	47名	1/6	40名	88.89%
出席免除会員	3名	12/9	37名	82.22%

ニコニコ箱

塩崎和仁 会計

平君・明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

松浦君・新年おめでとうございます。

中岡君・本年もよろしくお願ひします。

山口君・おめでとうございます。年男卓話楽しみ。

竹中君・新年おめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

土屋君・明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

津田君・明けましてお目出とうございます。

本人お誕生日お祝い・市川君、津川君、南君(お年賀状有難うございました。昨年より賀状失礼致しております。失礼の程お許してください)

配偶者お誕生日お祝い・中板君、溝落君、神谷君、坂口君。

ご結婚記念日お祝い・溝落君。



米山記念奨学会

吉田君・今年もよろしくお願ひします。

ロータリー財団

有本君・明けましてお目出とうございます。

45周年記念BOX

平君・総力で45周年記念例会を成功させましょう。

辻本君・あけましておめでとうございます。

保田君・皆様 明けましてお目出とうございます。本年もよろしく。

釜中君・明けましておめでとうございます。本年もよろしく。

坂口君・卓話させていただきます。

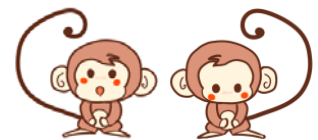
鯨君・明けましておめでとうございます。

寺下君・新年お目出とうございます。

宇治田君・45周年、皆様新年おめでとうございます。

西口君・本年もよろしくお願ひします。

「新年初例会 乾杯の挨拶 前田 孝道会員」





「申年生まれの会員卓話」 辻本会員 坂口会員 宇治田会員



「申年の初めにあたり」 辻本 圭三会員



1 私が弁護士を志すようになったのは、父が電力会社に所有農地の一部を半ば強制的に売却させられる目にあったときであり、この時に「法律を知っていればなあ」と感じたことに起因しています。

2 弁護士登録は昭和58年ですが、弁護活動でまず思い出されるのは下津町公金横領事件での弁護活動です。昭和59年に刑事事件として審理されていますが、私の所属していた事務所は下津町農協の代理人として民事事件を担当することになりました。勿論、刑事事件についての法廷傍聴をしています。大変な事件でした。

3 次に思い出されるのはカレー事件です。

カレー事件が起きたのは、平成10年7月25日のことであり、林眞須美死刑囚が毒物カレー事件で起訴されたのは同年12月29日のことでした。

私は親友の弁護士より、カレー事件の被害者のために弁護活動をしようと考えているが手伝ってくれないかとの相談を受けました。

当時、ヒ素の被害を受けた人は多数に上り、社会の耳目を集める事件でした。そのような中で、被害者側に立った弁護活動としてどのようなことが出来るのか全く未知数でしたが、たくさんの被害者が苦しんでおられる中で、何らかの手助けが出来ればと考え、弁護団の一員に加えて頂きました。

ところが、弁護活動をする中で、いろいろな問題が次々と噴出してきました。そこで、登場してくる問題について、まさに手探りの状況下で一つ一つ解決することになりました。その一つに、和歌山市、マスコミ、保険会社等に対する善処等の申し入れや、医療機関を相手にした医療過誤訴訟を提起したりもしました。

このように、被害のあらゆる分野についての弁護活動を行った印象があります。

これらの活動が誘引となって、犯罪被害者保護法が制定されるようになったのであります。



坂口 和男会員



和歌山市紀三井寺で生を得ました。

昭和42年大学を卒業して昭和44年紀三井寺でレストランと喫茶店を開店しました。学生時代のアルバイトも飲食店をいろいろと回り勉強して来ました。飲食業に強い興味を持って居りました。店は時代にマッチして大繁盛でした。

昭和48年第一次オイルショックからレストランが下降気味になり改造して喫茶店一本に切り換えました。これも繁盛しました。借入金の返済も終わり、気の緩みが出て来て私自身14、15年説線転落の道を辿りましたが、この経験が今の自分の心の糧になっていると思っています。

店もだんだん暇になり私の頭には別の事業に夢を馳せることが多くなりました。そんな時高齢の父が農業をやって居り土地がたくさんあり、この土地を利用しようと試行錯誤している時たまたま高校時代の旧友と同級会で再会し、この話をする。「土地があるなら特別養護老人ホームという事業を考えてみたらどうか」というアドバイスに今迄とは180度違う世界に躊躇しながらも申請を出し、何ヶ所も申請が挙がっている中、難しいのではないかと云われましたが、「物事当たって見なければ結果は出ない」という友人の激励に県庁とは縁遠かった私が一念発起して県庁に日参する事になりました。県庁に知り合いが居るといふ友人の声を頼りに挨拶に行きました。この事業の認可をいただくのに二年間頑張ってみようと腹をくくっての県庁通いでした。ところが二年待たずして一年で認可がおりました。この友人との再会がなかったら今の事業はなかったと思います。感謝と喜びでいっぱいになった事は言うまでもありません。

開苑式が終わり、この事業の運営をずぶの素人である私ができるのか改めて不安がよぎり眠れない毎日でした。最初は周囲の皆さんの指導をいただき、研修にも勤んで参加しました。年齢はすでに52歳になろうとして居りましたが毎日勉強の日々でした。

良き友人、先輩、知人そして従業員に恵まれ、現在では職員数200名弱の企業へと成長してまいりました。

地域の皆様には本当に感謝致しております。

今迄の人生で苦手な事、嫌な事は避けて通る自分でしたが、今私は苦手な事にも挑戦して、皆様の御声に耳を傾けこの事業に邁進していく所存でございます。

今後ともよろしく御交誼の程お願い申し上げます。



宇治田 堅三会員



皆様 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今、話された辻本さん、坂口さんと僕は1944年 昭和19年の申年6回目でございます。お二人にはいつもゴルフに夜の酒場に旅行にと、ころころになって遊んでもらってます良き盟友です。

今日、僕がお話するのは、中学・高校の同級生のとんでもない星の下に生まれた申年生まれのお友達の話しです。何がとんでもないのかと言えば、彼の生まれた家柄がとんでもなくすごいのです。それはそんじょそこらの家柄ではございません。

日本でNo.2の名家です。天皇家の次です。さて何家でしょうか・・・そうです5撰家（近衛家・鷹司家・九条家・一条家・二条家）筆頭の近衛家の長男に生まれているのです。彼には天皇家の血も流れています。でも、今の近衛家の当主は近衛忠輝さんですね。何故でしょう。話は飛鳥時代の藤原鎌足までさかのぼりますが、残念ながらもう時間です。4.5分では話しかれません。詳しくは又の機会に。